

令和4年度第2回感染症危機管理研修会
2022. 10. 28

リスクコミュニケーションと コミュニティエンゲージメント

～サル痘を中心に～

講義の目標

1. コミュニティエンゲージメントを概説する。
2. サル痘2022のリスクコミュニケーションを現場で行うときの具体的な方法を計画する。

リスクコミュニケーション

Risk Communication

- 対象者の持つリスクに関連する情報を、リスクに関係する人々(ステークホルダー)に対して可能な限り開示し、互いに共考することによって、解決に導く道筋を探す思想と技術です(木下, 2016)。
- 感染症危機管理の文脈であれば、公衆衛生活動を担う人にとってのステークホルダーは感染者、高リスク者、濃厚接触者、医療従事者、ビジネスオーナー、メディアなど多岐に渡ります。
- 高リスク者に予防行動の方法を周知するのも、記者会見でメディアの質問に答えることも、リスクコミュニケーションの具体的な活動の一部です。

コミュニティ

Community

単に地理的に特定の地域に居住する人々だけでなく、共通の関心や利害をもつ人々の集団。

コミュニティエンゲージメント

Community Engagement (CE)

地理的に近い人々の集団、特別な関心を持つ人々の集団、あるいは類似した状況にある人々の集団と協力し、その集団を通じて、人々の福祉に影響を与える問題に取り組むプロセスであり、コミュニティとそのメンバーの健康を改善する環境や行動の変化をもたらす方法のひとつ。

多くの場合、コミュニティのメンバーが参画することで、体制に影響を与え、メンバー間や組織間の関係を変化させ、政策や対策などの実践を変えるために連携したり協働したりする(CDC, 1997)。

"Principles of Community Engagement: First Edition." Centers for Disease Control and Prevention: CDC/ATSDR Committee on Community Engagement, 1997.

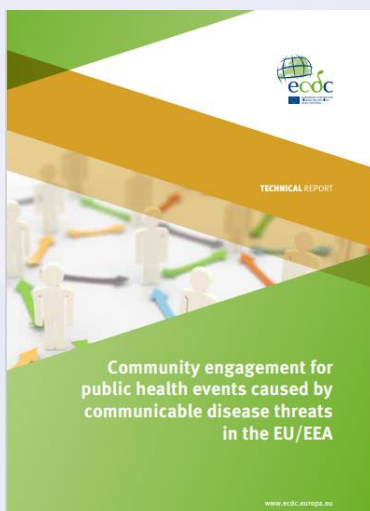
目次

- I. コミュニティエンゲージメントのガイダンスと感染研事例の紹介
- II. サル痘2022のリスクコミュニケーションとコミュニティエンゲージメントをするとき



目次

- I. コミュニティエンゲージメントのガイダンスと感染研事例の紹介
- II. サル痘2022のリスクコミュニケーションとコミュニティエンゲージメントをするとき

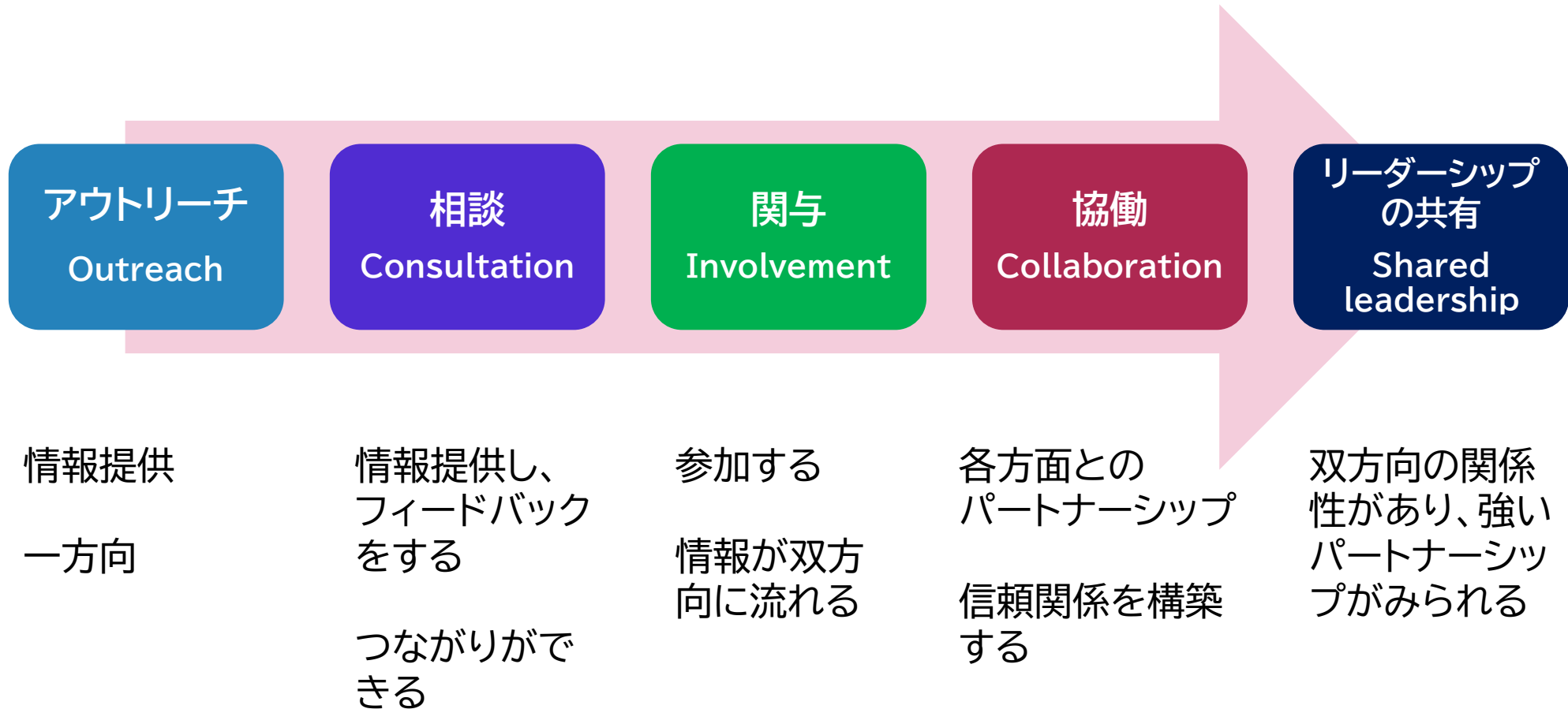


European Centre for Disease Prevention and Control.
Community engagement for public health events
caused by communicable disease threats in the EU/EEA,
2020. Stockholm: ECDC; 2020.

<https://www.ecdc.europa.eu/sites/default/files/documents/community-engagement-guidance.pdf>

コミュニティの関与や信頼度が増していく

コミュニティエンゲージメントの流れ



Adapted from McCloskey DJ, McDonald MA, Cook J, Heurtin Roberts S, Updegrove S, Sampson D, et al. Community Engagement: Definitions and Organizing Concepts from the Literature. Principles of Community Engagement No. 11-7782. 2nd ed. Bethesda: NIH Publication; 2011

最後に

コミュニティエンゲージメントにおいて
コミュニティの参加は構造化されておらず
長時間に及ぶことがあったり
時には反発が起こるかもしれない。

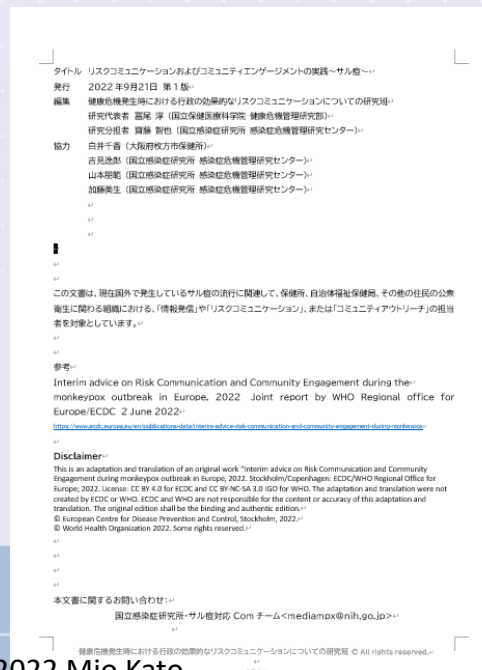
しかし
コミュニティ・パートナーと
一緒にリスコミを実施することは
パートナー無しよりも
持続可能で効果的な結果につながる可能性が高い。

平時からコミュニティエンゲージメントを

目次

I. コミュニティエンゲージメントのガイダンスに基づいた事例紹介

II. 現場でサル痘2022のリスクコミュニケーションとコミュニティエンゲージメントをするとき



サル痘

今回（2022年）報告された症例の特徴

症状	性器および肛門周囲の発疹が多く報告されている
感染経路	皮膚から皮膚への感染が多く報告されている
感染者	MSMが多く報告されている

なぜリスコミとコミュニティエンゲージメントが必要？

1. 感染リスクの高い集団へ情報を確実に届けるため
2. 科学的な知見が不十分な中で、情報を届ける必要があるため
3. イベント等が再開され、それによる感染拡大の懸念があるため
4. 人々にパンデミック疲れがあるため

どのようにリスコミとコミュニティエンゲージメントを行うか？

1. 信頼を構築する
2. ソーシャルリスニングをする
3. スティグマを低減する

